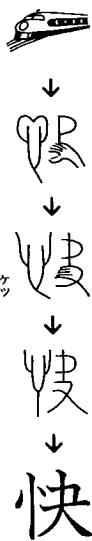


快

五年 画数 7
筆順 カイ、小、心、快
ク、オ、コ、こころよりい

成り立ち



「決める」という意味の「快」と、「心」という字の變形した「快」とを組み合わせて作った字です。

「決心する」という意味を表した字です。どうしても良いか、いろいろなやんだ末、決心することですが、決心すると、それまでのなやみが消えて、「さわやかな心」になります。それで、「こころよい」という意味を表したものです。

また、「非常に速い」ことを表すのに「快速」という使方をします。【例】快速電車。

使い方

▽ぼくは夏の終わりの夜が好きです。快い風が吹いて、昼間の暑さを吹き払ってくれる夜は、すてきです。深い色をした空に、月や星が光っているのを見ながら、風に吹かれて散歩をしたりするのも愉快です。少し汗ばんだ肌を風がすーっと吹いて行くのは、何ともいえない快感です。

▽わたしの友だちのなつちゃんは、とても快活な女の子です。わたしは少し内気なので、なつちゃんの朗らかな様子を見ると、うらやましくて、わたしも、あんなに快活な性質になれないかな、と思います。

熟語例

- ▽愉快（楽しくて快いこと。）
- ▽快感（快い感じ。気持ちの良い感じ）
- ▽快活（朗らかで活発なこと。）
- ▽快適（快く、適当なこと。気持ちが良く、具合がよいこと。「快適な船旅」などというふうには、つかいません。）
- ▽痛快（非常に気持ちがよいこと。「三銃士」は、痛快な小説だ」などというふうには、つかいません。）

解

五年 画数 13
筆順 角、解、解、解
オン、ク、カ、イ、ゲ
と、川、く、川、か、す、川、ける

成り立ち



「牛（年III）」と「角（年100）」と「刀（年201）」とを組み合わせて作った字です。

「牛刀」という、牛を解体するのに使う「刀」で、頭の「角」に至るまで、牛を解体（体を「とき」ほぐす）すること「を」表した字です。「とき」「ほぐす」という意味に使われます。【例】解剖、分解。

「むずかしい物事を、わかるように」ときほぐす「意味にも使われます。【例】解釈、解説。

それで、「わかる」という意味にも使います。【例】理解、了解。

「水に」とける」という使い方もあります。【例】溶解。また、「氷を」とかす」という使い方もあります。【例】解冻。

五年

使い方

▽ぼくは、おとうさんの時計を分解しました。中がどうなっているか知れたかったからです。でも、元に戻すことができなくて困りました。お父さんに叱られると思いましたが、叱られませんでした。おとうさんも、子供のころ、おじいちゃんの時計を分解したことがあったのだそうです。

▽わたしは本を読むのが好きですが、時々、理解できない所があって、首をひねってしまいます。大きくなって、もっと利口になれば、わかるかもしれないけれど、むずかしい所は、誰かが解説してくれたらいいな、と思います。

熟語例

- ▽解剖（生物の体を切り開いて、中を調べること。）
- ▽分解（物をばらばらにすること。）
- ▽解釈（物事や文章などを理解できるように説明すること。）
- ▽解説（わかるように説明すること。）
- ▽理解（わけがわかること。）
- ▽了解（わかること。承知すること。）

五年